

# 02 みんなで投票に行こう！

第22回参議院選挙はいよいよ7月11日投開票となっている。

菅新内閣は発足当初は支持率も回復して民主党は過半数に必要な56議席を確保する勢いで選挙戦に臨んだが、菅総理自ら消費税に対して説明不足や軌道修正の発言で支持率も下降気味であり、このままでは50議席確保も危うい展開となっている。

昨年の衆議院選挙で大勝した民主党は今回の参議院選挙で過半数の56議席を確保できないと、参議院の場で逆ねじれ現象が起こり政治の場は、国民のための政治ではなく政治家のための政争の場になってしまう恐れがある。連立与党による過半数の獲得を目指し、それを成し遂げることによって本当の意味での政権奪回となる。参議院選挙を、「労働者の雇用とくらしを重視し、国民中心の政治を確立するための選挙」と改めて位置づけ、自治労の存在価値と社会的評価をよりいっそう高めるために、連立与党の勝利と比例区では自治労出身の「えさき たかし」氏、鹿児島選挙区においては民主党公認の「かきうちこういちろう」候補の必勝に向けて、組織の全力をあげて取り組みを進めていかなければならない。投票日までの紹介者への呼びかけと投票所に行ったら、まず選挙区の投票用紙に「かきうちこういちろう」と記入、次に比例区の投票用紙に「えさき たかし」と記入いただきたい。

参議院選挙の場合、比例区では名前で「えさき たかし」と書かないと本人が当選する枠が限られてしまうので注意してほしい。

《今後の予定》  
7月16日  
9:30 幹事会  
13:30 地方代表者会議

二〇一〇平和行動日 沖縄に参加して

石原産業分会 末吉 誠一

去る六月二十三日・二十四日に連合主催による二〇一〇平和行動日 沖縄に参加してきました。一日目、那覇市民会館にて平和沖縄集会がありそこで「日米安保条約改定五〇年」米軍基地の実態についての講演がありました。

今から六十五年も前に戦争は終わりました。しかし、今もなお沖縄にはアメリカの軍事基地や軍用機があるのは何故かという事、そしてそれらを無くす為には政治的要素が必要であるという事を改めて学びました。

二日目、ピースフィールドワークとして辺野古海岸、嘉手納基地、チビチリガマ、渡具知海岸、普天間飛行場と回りました。

辺野古海岸では、綺麗な砂浜に有刺鉄線だけの簡単な仕切りがありそこから先がアメリカ領土というのは少し信じられませんでした。ふと自分の足元に目を落とすとヤドカリが何匹も歩いていました。こんな自然いっぱい海に基地を移設しようと考えている人達がいるかと思うと残念でなりませんでした。

チビチリガマ見学は、うっそうと草木が茂る中にあり沢山の住民が集団自決した場所でありました。住民が戦争という精神的極限状態の中で、日本兵から恐怖心を植付けられ死を選択していく。その場に降り立ったときはなんともいえない思いと気持ちで胸がいっぱいになりました。

嘉手納・普天間の基地二つを見たとき、その大きさにビックリしました。そして、基地近くで説明を受けているとき爆音を立てて飛んでいる戦闘機。沖縄では、軍用ヘリや戦闘機が日常当たり前のように飛んでいるようですが基地の近くには住宅が密集しており騒音や墜落の危険など、基地が有ることによる多くの問題が今だ山積みであると実感しました。

終戦から六十五年以上経ち日本は凄まじい勢いで復興し現在に至っています。沖縄も同じく焼け野原となってしまった小さな島国が今では住宅やビルが密集して建ち並ぶ大都会へと変貌を遂げました。そこには沖縄に生きる人々が沢山の犠牲を出した暗い過去の戦争を乗り越え強くたくましく生きてきたからこそこの証であると思います。

しかし沖縄には今まだなお米軍基地がいくつも存在します。軍用機の墜落や騒音、米兵による犯罪など多くの問題がある一方で、その基地内で働き収入を得ている人達もいるというのが実情のようです。

でも自分の感想・意見として沖縄に米軍基地は必要ないと思いました。戦争という誰のためにも何もならないことを二度と繰り返さないためにも、日本という国が声を大にして「基地NO！」を発信していかないといけないと思いました。沖縄から基地が無くなったとき、初めて本当の沖縄の終戦が来るのではないかと思います。

この二日間、沖縄を違った角度から見ることができ大変勉強になりました。しかし沖縄は、やはり観光できたほうが良いです。